

## 第10回 全国大会・研究発表大会 ベストペーパー賞 受賞記

中西 昌武

このたびベストペーパー賞という大賞を頂けたことを、この上なく光栄に思います。大学行政に忙殺され研究時間が思うように割けない中、自身の研究を若い世代の方にも伝えなくてはとエントリーした小さな試みに、神様は微笑を返して下さいました。情報システム学会様には大会運営でご多忙のなか論文をお認め頂き、厚く御礼申し上げます。

私は長年、データベースと帳票の関係の解明と応用に力を注いできました。無論そのベースには E. F. コッドの関係代数がありますが、もうひとつのベースには、数理学に好みをもつ佐伯胖の思考運動論があり、今回の論文は、両者を横目で見ながら書いたものです。

帳票構造はデータベース構造と表裏の関係であるにも関わらず、これまで理論化の恩恵を受けてこなかったと思います。システム開発プロジェクトの要求分析工程に目を移すと、これまた、さしたる理論的恩恵が与えられないまま今日に至っている。実は両者は無関係ではない。物理学の理論が人々を安心安全に鉄道や航空機で運ぶことを保証したと似た意義で、要求分析の帳票検討にも理論的ベースを与える余地があるのではないか。それが今回の論文の執筆動機であり提案でした。この論文では、数理科学的アプローチを適用しています。

数理学を応用した帳票理論の切り口からは、沢山の派生的研究が可能ですので、ぜひその夢を若い世代の方々と分かち合っていきたいと願っています。要求分析は、論理的整合性と情緒的不合理性と打算的利害性が錯綜する工程であり、理論的整備という面では今なお未踏の地です。私がこの領域に関心を向けるきっかけを下されたのは師と仰ぐ松平和也氏（学会監事）ですが、受賞の場で師と同席を許されたことは望外の喜びでした。これを励ましとして今後もこの研究に精進してゆきたいと願っています。引き続きのご指導を頂ければ幸いです。